

令和6年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

1 学年

	指導計画及び指導内容	各観点における評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサン 身近なものを描く</li> <li>・形のとらえ方や明暗の付け方</li> <li>・材質感の違いによる表現の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩の特徴のとらえ方を理解し、対象を正確に、美しく表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものの形や色彩のよさ、美しさを感じ取り、豊かな発想で、表現方法を工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチをすることに関心を持ち、意欲的に描くことができる。</li> <li>・対象をよく観察し、対象物から感じ取ったことをいきいきと表現している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩と配色 平面構成</li> <li>・色彩の三要素</li> <li>・混色や配色による効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩による効果を理解し、対象から感じ取ったものを、美しくデザインし、表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配色の違いによる美しさを生かした発想ができ、画面のバランスを考えた構成ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩について理解し、各色相の性質を知り、関心を高めながら制作に取り組める。</li> <li>・色彩による効果や使われ方を理解し、感じ取ったことを作品制作に生かしている。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の美術</li> <li>・西洋の美術と東洋の美術</li> <li>・西洋絵画の鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、光、空間や遠近法などの効果や印象など、西洋美術の特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を高めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各作品の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、見方や感じ方を深める鑑賞の活動に取り組んでいる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタリング 絵文字</li> <li>・文字の種類とレイアウト</li> <li>・絵文字のデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字体の基本を正確に練習し、自分でデザインし、うつくしく表現をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なレイアウトでレタリングをすることができ、それに合った配色を構想しながら表現ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の種類やレイアウトの意味を理解し、活字体の文字の美しさや表現の違いを感じ取りながら、レタリングをすることや絵文字への関心を強く持って制作に取り組んでいる。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン（ステンドグラスの制作）</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・表現を広げるための工夫</li> <li>・イメージに合った色彩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現方法や配色に工夫をしながら、創造的に美しく表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに合わせたデザインを考えることができ、構想を練りながら表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なものの見方を持って発想し、デザインを工夫しながら、制作への意欲を高めることができる。</li> <li>・多様な表現の違いや良さに気づき自分の作品のイメージを創造できている。</li> </ul>